

海外安全対策情報（2020年1月～3月：ナミビア）

1 治安情勢及び一般犯罪の傾向

（1）当国は政治的に落ち着いており、これまでテロや特定外国人を標的とした誘拐は確認されておらず、アフリカの中では比較的安全と言われている。他方、首都ウィントフックでは、日中であっても路上強盗等の一般犯罪が頻発しており、邦人を含め、外国人観光客が少なからず被害にあっている。

（2）最新の犯罪統計（安全保障省統計：2014年～2016年）によれば、国内全体の刑法犯認知件数は年々増加の傾向にあるが、例年、認知刑法犯の種類に大きな変化はなく、年末は都市部の犯罪が地方へ分散する等パターン化している。月別の刑法犯認知件数については、1月の件数が最も少なく、2月～4月に増加し、5月～6月に減少、7月～9月に多少変動があるが横ばい、10月～年末にかけて増加、12月に最も多くなる。認知刑法犯の上位は、住居侵入、強盗、盗難、車上荒らし、暴行等が挙げられる。他方、2020年6月2日付け当地ナミビアン紙の報道によれば、Covid-19の影響によるロックダウン措置の期間中、犯罪率は大幅に低下している。非常事態宣言前の68日間に記録された犯罪件数1,639件が、ロックダウン期間中は1,369件（全体で16.5%減）に減少し、そのうち強盗等の凶悪犯罪件数は503件から266件へ、その逮捕者は99件から65件へ減少している。

（3）当国の失業率は、2014年の27.9%から2018年は33.4%と増加傾向にある。それに伴い若年層による金銭目的の一般犯罪が増加傾向にある。標的となりやすい物はカメラや携帯電話等の電子機器である。当地で発生した携帯電話の盗難被害件数は、2014年の4,446件から2016年の6,075件と27%増加している。

（4）安全・保安省が発表した統計によると、2018年5月から7月にかけてナミビア全土で107件の武装強盗が発生しており、同期間に銃器の無許可所持が91件記録されている。当地の治安当局は年々増加する銃器の所持、盗難や持ち主の管理不十分による紛失に起因する、銃器関連の犯罪増加を懸念している。

2 外国人に対する犯罪の事例

（1）6月16日、12時頃、在ナミビア中国大使館の館員の強盗被害が発生した。市内の銀行で現金200,000ナミビアドル（邦貨約1,300,000円）の引き出しを行い、車両で大使館へ戻る途中の交差点で信号待ちをしている間に襲撃された。強盗に助手席側の窓を壊されながらも、いったん逃げることに成功したが、大使館に到着する直前の道路でもう1台の強盗の車両に阻まれ、現金を奪われた。現金引き出し後の本事件全体が数分の時間枠で行われており、計画性のある犯行と想定されている。現在警察により、銀行のカメラ映像、通話記録

等の調査が行われている。

(2) 6月19日、時間不明、コンゴ共和国大使館敷地内で車上荒らしの被害が発生した。警察によれば、被害の詳細について確認はできておらず、電気柵の切断等、侵入の形跡は見されていない。

3 薬物・危険ドラッグについて

(1) ナミビアは、違法薬物や危険ドラッグ等がブラジルから南アフリカを経てアンゴラへ密輸される際の経由地として利用されている。

(2) 2018年6月15日、当館から西へ約300kmの港町ウォルビスベイで、ブラジル、及び南アフリカを経由してきた412kgのコカイン(ナミビア史上最高額、市場価格206,000,000ナミビアドル、邦貨約20億円)が押収された。

(3) 2019年2月11日、ナミビア警察広報担当官は、ナミビア警察・麻薬取締部が過去4か月間で違法薬物9,500,000ナミビアドル(邦貨約7千6百万円)相当を押収、423名を逮捕したと発表したうえで、「これまでナミビアは違法薬物の中継国と認知されていたが、もはや中継国でなく消費国である。」と述べている。

(4) 当地ニューエラ紙は2020年5月14日付けの報道で、違法薬物を扱った罪で毎日逮捕者が出ていることを伝えているほか、2020年7月8日付けの報道では、ナミビア警察広報担当官が、2020年6月1日から30日に2,000,000ナミビアドル(邦貨約1千3百万円)を超える金額に相当する違法薬物を押収し、その過程で合計108名が逮捕されたと発表したことを伝えている。

4 交通事故

交通事故による死者数は年々増加の傾向にあり、2011年の492件から2016年の731件と5年間で33%増加している。交通事故発生の主な原因は、スピード超過、不注意、無謀運転等である。2016年のデータによれば、横転事故が全体の交通事故の29%を占め、次いで追突事故が27%、歩行者との接触が23%となっている。直線で片側一車線という道路も事故の大きな要因のひとつである。大型幹線道路で高齢者や初心者、又は大型トラックが低速で走行していることに起因する無謀な追い越しも交通事故発生要因の一つである。旅行者が移動中、飲酒運転による信号無視を伴う無謀運転の事故に巻き込まれ死亡したケースも確認されており、信号が青でも、交差点に進入する際は左右の確認をする等、注意が必要である。最新の情報によれば、2019年の交通事故報告件数は3,398件、死者547人となっている。

5 テロ・爆弾事件発生状況

当該事件の発生は認知していない。

6 誘拐・脅迫事件発生状況

外国人が被害者となった身代金目的の誘拐事件は認知していない。

7 対日感情

ナミビア人の日本人に対する感情は良好。

8 日本人安全対策のためにとった具体的措置

在留邦人へのお知らせの発出

なし。(了)